## 令和 4 年度 第 71 回東北地区高等学校 PTA連合会

## 盛岡大会

参加メンバー(敬称 略) 《PTA役員等》 志田順悦 中村直紀 佐々木朋子 田口昭隆 石戸 満 大平智美 相川直子 八幡美紀 鈴木りり 《学校関係》 小原 由紀 菊池 保貴

上記メンバーが会場係として参加しました。





## 歓迎のことば



岩手で結ぶ「えん」

盛岡大会実行委員長 志田 順悦

悠久の歴史を知む文化と自然豊かな「黄金の鑑」、岩手にようこそおいでくださいました。

第 71 回東北地区高等学校 PTA 連合会協両大会の開催にあたり、県都盛岡の地に東北各地から多くの皆様をお 迎えし、また多くのご来賓の皆様にご臨席を賜りましたことに厚く感謝と脚礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う「コロナ猫」が始まって3年。否応なしに社会全体が様々な困難への 対応を迫られ、苦しい状況からまだに続いています。この関係たちPTAも何外ではなく、「人と人とのつなかり」を唯一 無二の財産としながらら、そのつなかりを失み出す行事や活動はことごとや中止や停滞を余線なくされ、東北6県のPTA が一堂に無い、思いと学びを深める場として毎年同催されてきた本大会もまた、2年連続で開催中止となりました。それ だけに万難を押して3年よりに開催される本大会は、新しい時代にふさわしいあり方と内容を備えた一層重義深い大会 となることが関待されています。

今、私たちPTAに必要なのは、人と人とのつなかりを取り戻して新しい時代に合った体制をいち早く立て直し、子どもたちを支える力を削損することではないでしょうか。本人会のテーマはそうした思いから、「えん一応えよう、接けよう、 倒まろう、子どもたちの本来のために〜」と設定いたしました。「えん」は、人を結ぶ「縁」、人を慌ける「機」、人が ある「円」、に滅し、人と人とのつながのの大切さを意味します。 今、子ともたちは、いつか混らが実際になれる明るい未来が来るはずと信じて、苦難に負けまいとそれぞれの目標に

今、子どもたちは、いつか報告が実施になれる明るい未来が来るはずと信じて、善難に負けまいとそれぞれの目標に向かって無命に口を通ごしています。PTAの投資は、子どもたちの未来がより実施に満立たものになるよう、子どもたちの素末に「応」よ、学びを「疑」け、ともに「田」まり、炎えていべこと。その活動はすべて子どもたちの未来のためにこそあります。

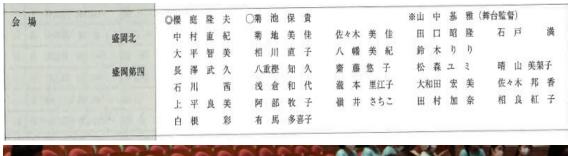
私たちは子どもたちの「必接団」。この思いを胸に、今こそこの岩手の地で一堂に「えん」結び、学びを深め、子 どもたちに厳励のエールをともに送りましょう。

最後になりましたが、本大会の開催にあたりご尽力いただきました関係諸機関をはじめすべての登標に対しるより得礼 を申し上げまして、歓迎のあいさつといたします。

「えん」は志田実行委員長発案。大活躍でした。

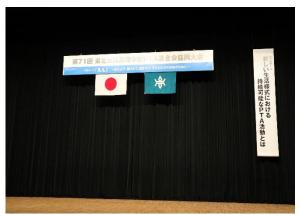
## 第71回東北地区高等学校PTA連合会 専門部員名簿

◎専門部長 ○専門部副部長





中村会長以下盛北役員軍団集合の図。マリオス大ホールにて打合開始。



志田さん、開会宣言の練習。

前日のステージはこんな感じ。 暗幕の裏で我々は活動した。





さあ、準備すっか。

これでいいよね?

